



ロータリー:
変化をもたらす



守口ロータリークラブ 週報 No.12



上村 優太様 (守口RAC会長)

2017-18 RIテーマ

経済と地域社会の発展月間
米山月間

本日のピアノ演奏

1. 昴 2. 花束を君に 3. ワンダフル・ワールド

<p>本日例会 2017年10月25日(水) (第2734回)</p> <p>「自己紹介/会社案内: (株) 東洋生興」 前川 正敏 会員 担当: 国際奉仕委員会</p>	<p>次回例会 2017年11月01日(水) (第2735回)</p> <p>「 」</p> <p>担当: ロータリー財団委員会</p>
--	---

出席報告			
例会日	出席	欠席	出席率
10月18日	32 (内免除者2名)	9	78.05%【会員43名】
09月27日	30 (内免除者2名)	メイクアップ2名 (73.17%)	



前回例会 (2733回) 10/18の主な内容

◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
水谷会員へ第1回米山功労者賞の感謝状贈呈。

◎ゲストご紹介

- 本日の卓話講師
- 守口市門真市消防組合消防本部 警備課
消防司令補 防災救急係長
助野 具代様
- 松本かおり様 (石津会員のお客様)
- 上村 優太様 (守口RAC)
- 山田 幸希様 (守口RAC)



◎幹事報告 (幹事 井上 智裕)

1、湯上ロータリークラブ (秋田) 創立50周年記念式典に石橋会員、菊田会員、川村会員が出席され、バナー交換をしました。



<p>■ 会長: 大野 智子</p> <p>■ 幹事: 井上 智裕</p> <p>■ 広報雑誌・会報委員長: 他谷 勝</p> <p>URL: http://www.moriguchi-rc.jp/</p>	<p>■ 例会場: ホテル・アゴラ大阪守口 守口市河原町10-5 TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038</p> <p>■ 事務所: 守口市河原町10-5 ホテル・アゴラ大阪守口5F 〒570-0038 TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009</p> <p>■ メールアドレス: info@moriguchi-rc.jp</p> <p>■ 例会日: 毎週水曜日 12時30分~13時30分</p>
---	--



ニコニコBOX S・A・A

- 中島 会員 桐絃社70周年、須山知行生誕100年の記念演奏会に沢山の皆様にお出で頂き誠に有難うございました。
- 石津 会員 松本かおりさんをお迎えして。
- 菊田 会員 長期例会欠席のお詫び。
- 石井 会員 電車乗り越して京橋迄行きましたが、何とか間に合いました。
- 廣瀬 会員 桐絃社創立70周年おめでとうございます。素晴らしい演奏ありがとうございました。
- 大野 会員 中島会員、先日は素晴らしい演奏会に行かせていただきまして有難うございました。感動いたしました。

石橋 会員 }
 菊田 会員 } 潟上ロータリークラブで50周年参加して参りました。
 川村 会員 }

10/18 ニコニコBOX 465,000円

◆◆◆委員会報告◆◆◆

○潟上ロータリークラブ

創立50周年記念式典出席報告 (石橋会員)

日 程：10月15日 (日)

場 所：秋田

出席者：石橋会員 菊田会員 川村会員

このクラブとは東北大震災における震災孤児の支援事業を共に行った事に起因します。当クラブも色々検討を重ねた結果孤児になった子供達への支援を行う方向を確認致しました。当時幹事を務めていた川村会員に潟上RCを中心とした8クラブそして台湾宜蘭RCも参加したプロジェクトを見つけて出させていただきました。

大きな被害を受けた岩手県大槌町の両親をなくした小中学生が50名近く要るとの事、この子供たちに対する支援を長期にわたり行うというものでした。

当時の潟上RCの淡路様を中心としたプロジェクトで出来上がり、私と当時菊田副会長と川村幹事で大槌RCに赴き大槌RCの皆様とお目にかかり現状を見て参りました。このプロジェクトを承認いただき5年間継続してまいりました。状況も落ち着き終了した次第です。この縁で50周年の式典でご案内いただきました。今後機会がございましたら、友好を深めていけたらと思っております。

○青少年・ローターアクト委員会

(橋本委員長)

【地区内のローターアクターが、訪問地のローターアクターと国際交流及び国境を越えた奉仕活動ができる海外研修は、下記の日程で実施することとなりました。当クラブから2名参加致します。】

『ローターアクト海外研修の参加に当たり、会員皆様にご支援をお願いしたところ、合計9万円ものご厚志を頂戴しました。また、参加するローターアクトの会員にもあたたかい励ましのお言葉をいただき、ありがとうございました。帰国後、12月になりますが青少年奉仕の卓話の時間に、参加報告をさせるとともに皆様方に改めて御礼を申し上げる所存でございます。』



◆◆◆委員会だより◆◆◆

○会員増強委員会

日時：10月18日 (水) 11:30～

場所：「事務局」出席：8名

議題：会員増強リスト活動報告

○第1回選考委員会

日時：10月18日 (水) 13:40～

場所：「事務局」出席：8名

議題：選考委員長選出の件

◆◆◆委員会報告◆◆◆

○職業奉仕委員会 (石橋委員長)

事業所見学のご案内

日程：10月25日 (水) 例会終了後

場所：住之江競艇場

◎会長の時間

(会長 大野 智子)



ある感動的なお話を紹介させていただきます。

ある男が事業に失敗し、奥さんや子供にも愛想をつかされ、もう生きてゆく気を失ってしまい、自殺しようと考えていました。彼には死ぬ前に、一人だけあっておこうと思う友人がいました。その友人は精神科の医者で悩み相談室を開いていたのでした。

友人は男が生きる希望をなくし落ち込んでいるのを見て、自分の所に悩みを相談に来た人たちの録音テープを聞かせたそうです。

ある主婦は夫の酒癖が悪く、仕事もろくにせずぶらぶらしていることを嘆き、もう少しともに働いてくれたらと愚痴をこぼします。また、ある母親は息子の事で相談に訪れ、息子が全く勉強をせず、悪い遊びにはまっていることを心配して嘆き悲しんでいました。そのようなテープを何本も聞かせたうえで、友人はこの男に、「このような不幸な人達に共通の言葉があるのが分かるかい」と尋ねました。

「こういう不幸な人達は皆何々『さえしたら』という言葉を使っているんだ。『夫がもう少し仕事さえしたら』『息子が勉強さえしたら』というこの五文字を『こんどこそ』という五文字に変えられたら、人生はどれだけ明るくなるか分からない」のだと云いました。

この話を聞いて、死のうと思っていた男は何か目の前が開けたような気がしました。そしてもう一度ゼロからやり直そうと決心し、また新しいスタートを切ったそうです。

そして月日は流れ、この男の新しい事業は運にも恵まれ大成功を収めました。「あなたの成功の秘訣はなんですか」と問われた時に、彼は、「自分がかつて事業に失敗して絶望の淵に立っていた時、友人が二つの言葉を教えてくれた。すなわち、一つ目『さえしたら』と二つ目『こんどこそ』。そしてこの『こんどこそ』という五文字の言葉が私の人生を変えてくれたのです。と言ったのです。

私たちはとかく何か壁にぶつかったり困難に直面すると、「～さえしてくれたら」とか「～さえなければ」という言葉を良く使いがちです。

しかし、マイナス状況の時にマイナスの言葉を使っても物事は決して良くなりません。「プロとはマイナスをプラスに変える人を言う」という言葉もありますが、できるだけプラスに変える人を言う」という言葉もありますが、できるだけプラスの発達の言葉を使うよう心がけたいものです。

そうすると気分も変わりますし、新たな打開策も見つかることがよくあります。良き言葉で良き人生を送れるのではないのでしょうか？

ロータリーの皆様には、無関係なお話と思いますが、一般的なお話としてさせていただきます。

卓 話

守口市門真市消防組合消防本部
警備課 消防指令捕
防災救急係長
助野 具代 様



「守口市門真市の救急概況」

今ご紹介頂きました守口市門真市消防組合消防本部 助野でございます。日頃から消防行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本日は普段あまり耳にされることの少ないと思われる救急の実状をお話しさせていただきます。まず、守口市門真市の年間救急件数はどれ位だと思われますか？

実は平成28年1月～12月の出場件数は、16,319件でした。この件数は毎年約200件前後の増加で推移しています。しかし、本年上半期は例年の倍以上を上回る403件の増加となっており、このままのペースだと、17,000件を超えることも予想されます。では、この救急件数を守口市門真市は何台の救急車でカバーしているのでしょうか。

現在、当消防組合では常設6台救急車で対応しており、昨年の1台あたりの最大出場件数は3,790件、これは東京消防庁の救急隊1隊あたりの平均出場件数を超えるものでした。また、超高齢化社会といわれる社会情勢を反映し、高齢者の搬送率が年々増加しています。

この救急件数増加に伴い、問題となることがあります。それは「待機救急事案」です。待機救急事案とは、運用する救急車すべてが出払った状況で、119番通報による救急要請が入り、即時対応できない救急事案のことを指します。

この問題解決のために「救急車の台数を増やせばよいのでは？」とお考えになられるかと思いますが、財政問題等により即時増隊は難しい状況です。

そこで、当消防組合では「予防救急」や「救急安心センターおおさか」、「小児救急アプリ」による救急要請の可否判断をサポートする情報ツールの案内による緊急性の低い出場の抑制や、救急活動技術向上による現場滞在時間の短縮、救急隊と医療機関との連携強化によるスムーズな搬送受入に取り組んでいます。

守口市門真市の救急の実状をご理解いただき、消防行政をより一層サポートいただけますと幸いです。

四つのテスト

●言行はこれに照らしてから ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか